



## ITU-Rにおける議長・副議長訓練資料



株式会社NTTドコモ あたらし ひろゆき  
新 博行

### 1. はじめに

ITU-Rの研究委員会(Study Group)や作業部会(Working Party)の議長・副議長を対象とする訓練セミナーが2020年12月に開催された。その際に使用された資料が、ITU-Rのウェブサイト<sup>\*1</sup>に公開されている。

本資料は表に示すとおり、ITU-R活動の全般についてテーマごとにModuleと呼ばれるスライド形式の資料を用いて解説されている。図に、スライドの一例を示す。本資料は、新たに議長職を務める人向けへの訓練資料という位置付けで作成されているが、ITU-R会合へ初めて参加する人や、既参加者でも体系的な理解をしたい人向けに、有用な内容になっている。Moduleによっては、概要程度の記載にとどまっているものもあるが、関連ウェブサイトや、正式文書へのハイパーリンクが埋め込まれているケースもあり、これらの情報を直接参照し、その詳細を確認することも可能である。

### 2. 各Moduleの概要

#### 2.1 Module 1及び2

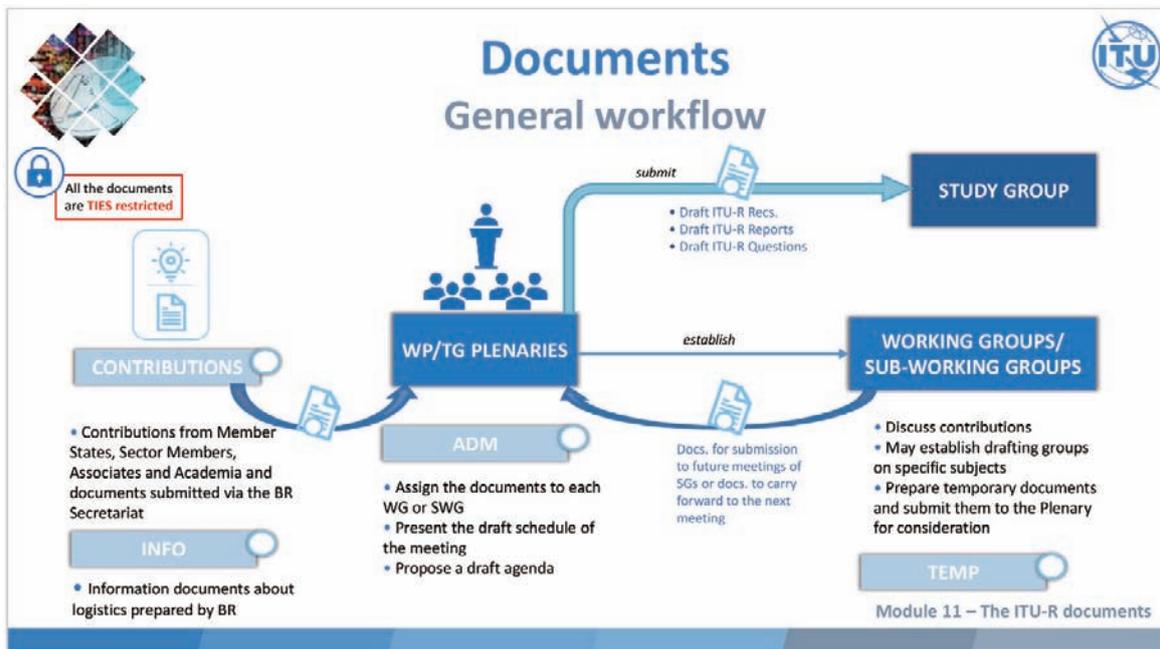
Module 1 (The ITU) は、ITUの概要を説明した資料であり、その歴史、沿革、組織等が説明されている。基本規範であるITU憲章、ITU条約の概要も説明されており、これらの文書へのハイパーリンクから、原文を直接参照することも可能である。また、ITU内の各セクターのミッション、ITU-D及びITU-Tの研究委員会の構成が簡単に説明されている。

Module 2 (The ITU-R) は、ITU-Rの組織概要とミッション、無線通信局 (BR: Radiocommunication Bureau) の任務と活動、世界無線通信会議 (WRC: World Radiocommunication Conference)、無線通信総会 (RA: Radiocommunication Assembly) など主要会議の概要が説明されている。また、無線通信規則 (RR: Radio Regulations) や

■表. 作成されている訓練資料

Module番号	タイトル	記載レベル
0	"Briefing and guidelines for Chairmen, Vice-Chairmen and Delegates - Introduction"	概要
1	The ITU	概要
2	The ITU-R	概要
3	The ITU-R Study Groups	概要
4	ITU-R Resolutions and working methods	—
4-A1	Resolution ITU-R 1-8 (Annex 1 - Working Methods of the ITU-R)	詳細
4-A2	Resolution ITU-R 1-8 (Annex 2 - Documentation of ITU-R)	詳細
4-B	Guidelines on the working methods	詳細
4-C	The ITU-R Resolutions	詳細
5	The World Radiocommunication Conference	概要
5-A	The WRC-23 agenda items	概要
5-B	The World Radiocommunication Conference 2019	概要
6	The Conference Preparatory Meeting	詳細
7	The Radiocommunication Assembly	概要
8	The ITU-R Meetings	詳細
9	The ITU-R Study Groups Chairmen	概要
10	The meeting registration procedures	詳細
11	The ITU-R documents	詳細

\*1 <https://www.itu.int/en/ITU-R/study-groups/Pages/rcvc-training.aspx>



■ 図. 訓練資料のスライドの一例\*2

ITU-R決議についても簡単に触れられている。

## 2.2 Module 3

Module 3 (The ITU-R Study Groups) は、研究委員会の概要を説明した資料であり、その傘下組織である作業部会の構成や、所掌する検討事項、ITU-R勧告 (Recommendation) や報告 (Report) の研究委員会への割振りや専門区分 (シリーズ) が説明されている。また、会合期間中にドラフティング作業などに用いる非公式文書を効率的にやり取りするためのSharePointサイトの概要や、会合と会合との間の活動形態 (Rapporteur Groups、Correspondence Groupsなど) が示されている。

## 2.3 Module 4

Module 4 (ITU-R Resolutions and working methods) は、4つの資料から構成されている。

Module 4-A1 (Resolution ITU-R 1-8、Annex 1) では、決議ITU-R 1において、ITU-Rの作業方法を規定しているAnnex 1の説明が行われている。RAの任務や構成、研究委員会の役割と研究対象、無線アドバイザーグループ

(RAG: Radio Advisory Group) の任務が解説されている。

Module 4-A2 (Resolution ITU-R 1-8、Annex 2) は、決議ITU-R 1において、ITU-Rの文書を規定しているAnnex 2の説明が行われている。研究課題 (Question)、勧告、報告等の定義や、それらの採択・承認・削除の手続きの規定が解説されている。また、会合への寄与文書のフォーマットや、記載すべき内容、提出方法等が説明されている。

Module 4-B (Guidelines on the working methods) は、決議ITU-R 1の規定を補完する内容として、無線通信局長が発行する作業方法のガイドライン\*3に記載されている内容を解説している。会合の開催案内の仕組みや、会合への参加登録、会合で取り扱う文書種別や出力文書の解説が行われている。

Module 4-C (The ITU-R Resolutions) は、ITU-R決議について解説を行っており、ITU-R決議の分類 (作業方法、共通技術、特定技術) や、ITU外組織との協調を規定した決議ITU-R 9、ITU-Rで取り扱う語彙 (Vocabulary) に関する決議ITU-R 36や、CCV (Coordination Committee for Vocabulary) の活動の概要が示されている。

決議ITU-R 1は、ITU-Rの作業方法として会合において

\*2 Module 11 ([https://www.itu.int/dms\\_ties/itu-r/oth/0a/0d/R0A0D0000130001PPTE.pptx](https://www.itu.int/dms_ties/itu-r/oth/0a/0d/R0A0D0000130001PPTE.pptx)) のスライド3より

\*3 <https://www.itu.int/oth/R0A01000004>



しばしば言及されることがある。決議ITU-R 1の原文よりも、スライド形式で解説した本Module 4-A1と4-A2は、専門的な位置付けで読みやすいと考えられるため、参考にさせていただきたい。

## 2.4 Module 5、6、7及び8

Module 5(The World Radiocommunication Conference)は、WRCの議題承認プロセスや会議体の構成、RRの目的と4巻構成となっているRRの各Volumeの内容、WRCの出力文書として改正箇所を取りまとめたFinal Actsの概要が説明されている。またModule 5-A (The WRC-23 agenda items) では、2023年に開催されるWRC-23の議題について、関連WRC決議や、ITU-Rで実施する研究の責任グループ(作業部会)に関する情報がまとめられている。

Module 6 (The Conference Preparatory Meeting) は、WRC準備会合 (CPM) について解説されており、第一会合 (CPM-1) 及び第二会合 (CPM-2) の目的や、CPMレポートの章構成、CPMマネジメントグループとチャプタラポータの任務の内容について説明が行われている。

Module 7 (The Radiocommunication Assembly) は、RAについて解説されており、その役割、会議体の構成、会合への入力文書の種別、研究委員会の設立とその議長・副議長の任命等についての説明が行われている。

Module 8 (The ITU-R Meetings) では、ITU-Rの主要会議一覧とその概要、会合参加に関わる一連の流れ(インビテーションレターの発出、会合への参加登録、寄与文書の提出、会合の開催時間等)の概要が示されている。

## 2.5 Module 9

Module 9 (The ITU-R Study Groups Chairmen) では、研究委員会の議長・副議長に関して、任命の仕組み、役割と担うべき責任、会合の運営において留意すべきこと等

の解説が行われている。

本Moduleに含まれる会合の運営で留意すべき事項の解説については、サブワーキンググループやドラフティンググループでの議長を務めている人、今後務めたいと考えている人にとって、基本的な知識として有用であると思われる。

## 2.6 Module 10及び11

Module 10 (The meeting registration procedures) では、会合へ参加するための登録手続きの方法や、インターネット接続によるオンライン会合の参加方法について解説が行われている。

Module 11 (The ITU-R documents) では、会合で取り扱う文書についての解説が行われている。会合の文書種別(寄与文書、ADM文書、TEMP文書、INFO文書)と概要、文書取扱いの一連の流れ、会合中に使用する作業文書の準備方法や議論方法、リエゾン文書や議長報告の概要、作業部会から研究委員会へのレポート(Executive Report)、ITU-R勧告や報告の様式、会合中に使用するSharePointの利用方法等について説明が行われている。

これらの情報は、ITU-R会合へ初めて参加する人にとって、各文書の取扱いの点から会合の進み方が分かりやすくまとめられているため、参考にさせていただきたい。

## 3. おわりに

今回紹介した訓練資料は、BRにおいて更新が行われ、より充実化していくと考えられる。そのプロセスにおいて「このような情報をModuleに取りまとめて欲しい」などの要望も可能であると考えられるため、お気付きの点があれば筆者 (hiroyuki.atarashi.yt@nttdocomo.com) までご連絡をいただきたい。